

令和5年度社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

1 推進目標：地域も関わり合える福祉学習の充実

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたとはいえ、まだまだ感染が続いている状況もあり、教育委員会や各学校と相談しながら、一部事業は中止や縮小はしたものの福祉教育実践普及校の小中学校全校指定、福祉作文の募集や福祉体験学習事業を継続実施するとともに、福祉教育実践発表会・研究会を再開し、また、ボランティア体験教室では、感染予防に十分配慮しながら、非接触型から交流活動に切替、児童・生徒の福祉施設でのボランティア活動を体験できる機会を提供するなど児童生徒に対する福祉教育が継続的に行われるよう取り組みました。

(1) 継続的な福祉学習・福祉教育の実践《重点項目》

○福祉教育実践普及校の指定・研究

- ・福祉教育実践普及校の指定（1年） 市内4小学校・4中学校の全校指定
- ・福祉教育実践発表会・研究会の開催 令和5年7月10日（月）市民会館中ホール
実践報告 岩沼南小学校、岩沼西中学校
講 話 演題 「地域を基盤とした福祉教育について」
～世代を超えて地域で学び合う福祉教育とは～
講師 東北文化学園大学現代社会学部
学部長 豊田 正利 氏

参加者 43名

○福祉教育担当者情報交換会

※新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 認め合える心を育む

○福祉作文の募集と表彰

応募数 244点（39点）※カッコ内は審査会対象点数

岩沼小学校 7点（7点） 岩沼中学校 96点（5点）

岩沼玉小学校 65点（6点） 玉浦中学校 17点（8点）

岩沼西小学校 5点（5点） 岩沼北中学校 35点（2点）

岩沼南小学校 1点（1点） 岩沼西中学校 18点（5点）

各賞受賞作文集 400部作成

市内小中学校、関係機関・団体等へ配布

○福祉（体験）学習の支援

- ・市内小・中学校、専門学校に対し児童生徒への福祉体験学習の指導に職員やボランティア等を派遣し、学習の支援を行いました。

番号	月 日	学校名	体 験 内 容	協力団体/ ボランティア等
1	5月22日	岩沼西小学校	3年：福祉体験 講話	職員 3名
2	7月 7日	岩沼小学校	3年：福祉体験 白杖体験	職員 3名 実習生 1名

3	7月12日	岩沼西小学校	3年：福祉体験 手話体験	職員 3名 ボラ 14名 実習生 1名
4	10月18日	玉浦中学校	2年：福祉体験 白杖体験	職員 2名 ボラ 1名
5	10月19日	玉浦中学校	3年：福祉体験 車いす体験	職員 3名
6	11月22日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 手話体験 高齢者疑似体験	職員 2名 ボラ 2名
7	11月28日	東日本航空 専門学校	2年：福祉体験 白杖体験、 講話	職員 3名 ボラ 1名
8	12月19日	岩沼南小学校	5年：福祉体験 車いす体験 白杖体験、高齢者疑似体験 障害者向けスポーツ体験 (ボッチャ、卓球バレー)	職員 4名 ボラ 8名

(3) 福祉に触れる学びの実践

○小中学生のためのボランティア体験

- ・小学生のボランティア体験教室 施設ボランティア体験

日時・場所 令和5年8月17日（木）障害福祉サービス事業所しおかぜ、農園
参加者 児童 14名 保護者5名

- ・中学生のボランティア体験教室 施設ボランティア体験

日時・場所 令和5年8月18日（金）ひまわりホーム
参加者 生徒 11名

- ・24時間テレビチャリティ募金活動協力 みやぎ生協岩沼店

8月26日、27日（土・日）
岩沼市ジュニア・リーダー協議会 延べ11名協力

○次世代支援事業

子どもの居場所づくり運営委員会への参画
ボランティア活動体験（再掲）

2 推進目標：地域を支えるボランティア育成と活動支援の充実

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症も5類に分類が変更され、地域においてもコロナ禍前の日常生活を取り戻しつつあり、多くの団体でサロン活動やボランティア活動が再開されたことに伴いサロンやボランティア活動の支援件数も増えました。また、事業においては、頻発する災害への備えとして災害ボランティアの養成や研修を継続するなど支援体制の強化に努めました。さらに、機運が高まってきた高校生のボランティア活動が定着し継続的に取り組まれるよう引き続き支援に努めました。

(1) ボランティア育成の推進《重点項目》

○ボランティア養成講座

- ・岩沼市自発的活動支援事業ボランティア養成講座

1月11日（木）総合福祉センター 受講者 17名

- ・災害ボランティアセンター運営協力ボランティア養成講座

2月10日（土）総合福祉センター 受講者 27名

- ・災害ボランティアセンター運営協力ボランティア養成フォローアップ講座
2月17日(土) 総合福祉センター 受講者 16名
- ボランティア交流・研修会
1月27日(土) 総合福祉センター 受講者 10名

(2) ボランティア活動支援の充実

- ボランティア活動支援事業
 - ・ボランティア活動情報の提供 社協だより・ホームページ・公式LINEで発信
- ボランティア保険加入促進事業
ボランティア保険加入 37団体 1,220名
行事保険加入 延41団体

(3) ボランティアセンター機能(仕組み)の充実

- ボランティア登録 (令和6年3月31日現在)
個人 232名 団体 37団体
うち、高校生ボランティア登録者数 45名

- ボランティアのコーディネート

- ・ボランティア相談及び活動件数

依頼者	個人	施設	団体	地域	社協	行政	合計
相談件数	14件	3件	8件	3件	25件	1件	54件
活動件数	8件	3件	6件	2件	25件	1件	45件
活動者数	8名	17名	25名	2名	52名	6名	110名

3 推進目標：気軽に参加できる地域づくりの充実

令和5年度は、市民福祉フォーラムは中止しましたが、認知症をテーマとした福祉映画上映会を開催し、地域づくりを考える機会を提供するとともに、コロナ禍で自粛していた障害児者等のサロン事業も、コロナ禍前の回数に近い状況で実施することができました。また、地域支え合い活動の助成事業や遊具等の貸出事業においても、多くの地域で活動が再開されたことに伴い、支援件数が増えるなどそれぞれの事業を通して地域づくりが充実されるよう支援に努めました。

(1) 居場所づくり

- 障害者サロン

- ・障害がある人と家族とボランティアの時間
6月10日、8月5日、10月14日、12月16日、3月2日(土) 5回開催
総合福祉センター 参加者 延48名 ボランティア 延18名
- ・発達に何らかの課題があるお子さんと家族のおもちゃの時間
7月27日、11月30日(木)、1月29日(月)、3月2日(土) 4回開催
総合福祉センター 参加者 延10家族25名 ボランティア等 延12名

- 市民福祉フォーラム ※市民福祉映画上映会に変更して開催

- ・映画「オレンジ・ランプ」上映
3月9日(土) 岩沼市民会館中ホール 参加者 88名

(2) 地域資源・社会資源の開発

○既存団体の把握、つながり作り

(3) 地域支援・団体支援

○地域サロン支援

- ・講師やボランティアの紹介等 3件
- ・サロン運営の支援 8件（助成金・立ち上げ支援他）

○地域支え合い活動助成事業

- ・ふれあいサロン事業等への支援と推進 助成金 5団体 240,000円

○遊具等無料貸出事業

- ・遊具等の貸出 140件

4 推進目標：一人ひとりを支える相談・生活支援の充実

令和5年度は、生活福祉資金コロナ特例貸付の償還が始まりましたが、生活が改善されず償還が難しい世帯も多く、相談・生活支援事業については、関係機関とさらに連携を深め、各種支援制度を活用し、生活に困窮する世帯への相談や支援に当たりました。

また、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦のみ世帯を対象とした交流事業においては、地域の活動状況を踏まえ感染状況を勘案しながら内容等を工夫し、事業を再開したり実施回数を増やしたり事業を実施し生活支援に努めました。

(1) 相談機能の充実

○ふれあい福祉相談事業

- ・地域福祉課の各種事業と連携し、職員が相談対応した。

(2) 生活困窮世帯への自立生活支援の充実

○愛の福祉短期貸付事業

【貸付】相談	18件	貸付	18件	貸付金	245,000円
【償還】		償還	42件	償還金	199,000円

○生活困窮者自立支援事業の受託

- ① 新規相談者 114名
 - 29歳以下 12名 30～49歳 22名 50～64歳 27名
 - 65歳以上 31名 年齢不明 22名
- ② 相談 2,054件
 - 電話 767件 訪問・同行 66件 来所（面談） 543件
 - 他機関への照会・協議 678件
- ③ 制度利用
 - ・家計改善支援事業 30件
 - ・生活福祉資金 3件
 - ・ハローワーク巡回相談 103件
 - ・生活保護受給者等就労自立支援促進事業 14件
 - ・住居確保給付金 5件
 - ・一時生活支援事業 1件
 - ・食糧支援 400件
- ④ プラン 策定28件 終結40件
- ⑤ 就労者数 13名
- ⑥ 就活サロン「ここから」開催 24回 利用者 延25名
- ⑦ コロナ特例貸付償還猶予調査意見書作成 9件

○生活福祉資金貸付事業の受託

- ① 相談件数 150件
- ② 貸付件数 3件 (福祉費・緊急小口資金・教育支援資金)
- ③ コロナ特例貸付償還免除 (非課税世帯・生活保護受給・債務整理成立等) 80件
- ④ コロナ特例貸付償還猶予 27件

○善意銀行の運営

・預託払出状況

預託 22件 紙オムツ、紙パンツ、尿とりパッド、米、衣類他
 払出 20件 紙オムツ、紙パンツ、尿とりパッド、米、衣類他

○日常生活自立支援事業 (まもり一ぶ) 対象者 (実利用者) 6名 生活支援員2名

○歳末たすけあい運動

募 金		配 分	
一般	4, 183, 825円	見舞金	4, 305, 000円
事務局扱い	168, 810円		(123世帯・246名)
前年度繰越	363, 079円	翌年度繰越	410, 714円
合 計	4, 715, 714円	合 計	4, 715, 714円

(3) 高齢者や障害者がいる世帯への生活支援の充実

○ひとり暮らし高齢者会食のつどい 5回開催 利用者 61名

※新型コロナウイルス感染症対策のため小地域での開催

- 7月21日(金) イベントスペース和笑輪 利用者11名
岩中学区(押分・里の杜北・南、押分団地行政区)
- 11月29日(水) 恵洪寺 利用者10名
玉中学区(林一・二、恵み野西・東①・②・③、早股下一・下二行政区)
- 12月11日(月) 岩誓寺 利用者6名
岩中学区(桜第一南・東・西、桜第二・第三・第四行政区)
- 2月7日(水) 総合福祉センターあいプラザ 利用者20名
西中学区(土ヶ崎第一北・南、土ヶ崎第二・第三、三色吉北・南・中、千貫団地、平等団地、長岡上・下、小川上・下、志賀上・中・下、北長谷北・南行政区)
- 3月12日(火) 総合福祉センターあいプラザ 利用者14名
岩中学区(桑原第一・第二・第三①・第三②・西、原、阿武隈、阿武隈団地、本町第一・第二、稲荷町、根方北・南、玉崎上・下行政区)

○高齢者夫婦世帯研修・交流会

※新型コロナウイルス感染症対策のため規模等縮小して実施

- 1月17日(水) 玉浦コミュニティセンター 参加者36名
岩沼小学校区、玉浦小学校区
- 1月23日(火) 岩沼西コミュニティセンター 参加者51名
岩沼南小学校区、岩沼西小学校区

○車いす無料貸出事業 貸出 48件

○おもちゃ無料貸出事業 (未就学障害児向け) 貸出 4件

5 推進目標：地域福祉を推進する連携・協働の充実

令和5年度は、昨年度コロナ禍で催し物が中止となった敬老のつどい地域版を小学校圏域ごとに催し物を開催することができました。また、民生委員児童委員協議会事務局の移管、生活支援体制整備事業の実施、各種委員会や情報交換会への出席等、様々な機会を捉え、行政や関係機関・団体等との地域福祉を推進する連携・協働の充実に努めました。

(1) 連携・協働の関係づくり

○法人化50周年記念岩沼市社会福祉大会の開催

令和5年12月4日(月) 岩沼市民会館 大ホール

参加者 約250名(被表彰者19名 来賓42名 関係者20名 一般169名)

記念式典 会長表彰22名 会長感謝状9名

記念講演 演題 「楽しく生きる秘訣」

講師 生物学者・早稲田大学教授 池田清彦 氏

○ふれあいの広場の開催 ※新型コロナウイルス感染症対策等のため中止

○岩沼市敬老のつどい地域版の受託実施

・催し物の開催

岩沼小学校学区 8月27日(日) 岩沼市民会館

参加者数：102名、協力者数：22名

岩沼南小学校学区 8月27日(日) 岩沼市民会館

参加者数：106名、協力者数：26名

岩沼西小学校学区 9月3日(日) 岩沼西コミュニティセンター

参加者数：117名、協力者数：25名

玉浦小学校学区 9月3日(日) 玉浦コミュニティセンター

参加者数：64名、協力者数：21名

・意見交換会の実施

12回開催(4小学校区×3回) 延参加者 219名

町内会等の長、民生委員、主任児童委員、介護保険事業所

・記念品の贈呈

紅白お粥(2袋セット)を対象高齢者3,985名に贈呈

介護保険事業所、岩沼市民生委員児童委員協議会、岩沼市老人

クラブ連合会の協力を得、直接あるいは郵送により贈呈

○岩沼市生活支援体制整備事業の受託

・第1層協議体の運営

第1回 2月27日(火) 総合福祉センター 出席者18名

第2回 3月15日(金) 総合福祉センター 出席者15名

第3回 3月26日(火) 総合福祉センター 出席者23名

・研修会の実施

地域支え合い研修 2月16日(金) 総合福祉センター 参加者45名

講演 「なぜ今支え合いが必要なのか～住み続けたい岩沼に～」

講師 一般社団法人宮城県社会福祉士会 社会福祉士 真壁さおり氏

・情報誌の発行 2回(11月、3月)

IWANUMAで暮らし続けるための生きがい支えあい情報誌「ず〜っと岩沼」

・第1層生活支援コーディネーターの配置

協議体の企画・運営、第2層生活支援コーディネーターとの情報共有・活動支援、高齢者支援のニーズ把握や社会資源の創出、関係機関のネットワーク構築等

ニーズ・地域資源把握 689回

ネットワークづくり 604回

機関・団体との連携	4 2 1 回
協議体に関すること	9 2 回
普及啓発・相談対応等	1 1 9 回

○障害者関係機関等情報交換会の開催 1 回

○各種委員会等への出席

(2) 連携・協働による地域福祉の推進《重点項目》

○町内会連携地域福祉活動モデル事業

・町内会指定 1 町内会 稲荷町町内会

(3) 共同募金委員会・老人クラブ連合会・民生委員児童委員協議会との連携・協働の推進

○岩沼市共同募金委員会の事務受託

・会務（事務、業務）の支援
・募金活動への協力等

○岩沼市老人クラブ連合会の事務受託

・会務（事務、業務）の支援
・社協共催事業
① シニアスポーツ大会
② その他事業への協力等

○岩沼市民生委員児童委員協議会の事務受託

・会務（事務、業務）の支援
・民生委員・児童委員活動への協力

6 推進目標：地域を支えるための基盤強化

第2次地域福祉活動計画の3年目となる令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に変わりましたが、一年を通してインフルエンザなど様々な感染症が流行している状況等を勘案しながら計画に沿って法人の運営管理等の進行管理を行いました。また、介護保険事業では、新型コロナウイルス感染症や燃料費高騰による物価上昇等の影響により厳しい状況が続きましたが、感染予防対策を講じ、利用者に対し安全・安心なサービスを提供するとともに改善に努めました。さらには、昨年度より進めてきた障害者等への相談支援を目的とする事業所を新たに開設し、事業を開始しました。

(1) 社協だよりの充実

○社協だよりの発行

会報「社協だより」の発行 年4回（7・10・12・3月） 計 74,890部

(2) ホームページ等の内容充実

○ホームページの更新 随時更新

○LINE公式アカウントの運用 随時更新

(3) 自主財源の確保

○経営・財政基盤の強化

1 会務の運営

①理事会

会 務 名	開 催 期 日	出 席 数	内 容
第311回 理 事 会	6月2日	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算について ・岩沼市デイサービスセンターさとのもり運営規程の一部改正について ・令和5年度資金収支補正予算（第1号）について ・第5回評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員候補者について ・第158回評議員会の開催について ・次期役員候補者について
第312回 理 事 会	6月20日	理事 9名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び常務理事の選定について ・理事の業務担当制について
第313回 理 事 会	9月28日	理事 8名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会嘱託職員給与規程の一部改正について ・法人化50周年記念岩沼市社会福祉大会岩沼市社会福祉協議会会長表彰被表彰者の決定について
第314回 理 事 会	11月17日	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正について ・令和5年度資金収支補正予算（第2号）について ・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会マスコットキャラクターデザインの選定について ・第159回評議員会の開催について
第315回 理 事 会	3月11日	理事10名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について ・各種委託契約について ・指名競争入札による契約について ・会社役員賠償責任保険の契約について ・令和5年度資金収支補正予算（第3号）について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度資金収支予算について ・第160回評議員会の開催について

②評議員会

第158回 評 議 員 会	6月20日	評議員16名 正副会長 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算について ・令和5年度資金収支補正予算（第1号）について ・理事及び監事の選任について
第159回 評 議 員 会	12月13日	評議員20名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度資金収支補正予算（第2号）について

第160回 評議員会	3月26日	評議員18名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度資金収支補正予算（第3号）について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度資金収支予算について
---------------	-------	----------------	---

③委員会等

監事会	5月17日	監事2名 正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算について
第5回 評議員選任・ 解任委員会	6月14日	委員5名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について
地域福祉 推進員会議	7月12日	会長 地域福祉推進員	<ul style="list-style-type: none"> ・岩沼市社会福祉協議会について ・地域福祉推進員の役割について ・会費の納入について
総合企画部会	2月20日	部会員4名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画について
総務財政部会	2月20日	部会員5名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度当初予算について
正副会長会議	年12回	正副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の事業並びに運営について ・理事会・評議員会の案件について ・月間行事予定の調整と参加出席調整等

○岩沼市デイサービスセンター「さとのもり」管理・運営

令和3年度より5年間、岩沼市デイサービスセンターさとのもりの指定管理者として岩沼市から指定を受けて3年目となり、継続して管理・運営に努めました。

新型コロナウイルス感染症5類移行後も、利用者数が伸び悩み登録者数や稼働率の向上を目指し対応してきましたが、激しい気候の変化によって体調不良等で入院となってしまふ方や、転倒などの怪我で休む方も多く、稼働率を上げることは難しい状況でした。

一般型及び認知症対応型と共通して、日常生活に支障が見られる高齢者（事業対象者及び要支援・要介護認定を受けた方）に対し、日常生活に必要な支援及び心身機能の維持向上を目的としたサービスを提供し、生きがいを持った暮らしの一助となるよう努めました。

令和5年度利用状況

	延利用者数	一般型(予防) 延利用者数	認知症型 延利用者数	開所日
年間合計	6,386名	5,834名 (1,476名)	552名	362日
平均稼働率	56.5%	65.4%	22.8%	

①通所介護及び介護予防通所介護の提供

- ・生活指導、機能訓練、入浴サービス、食事サービス、送迎サービス

②事業

- ・無料体験・見学者 33名（内20名契約）
- ・家族介護教室（市受託事業） 令和6年3月6日（水） 参加者11名
- ・介護実習等の受け入れ 1名

③会議の開催及び参加

- ・岩沼市デイサービスセンターさとのもり地域密着型サービス運営推進会議の開催
2回開催（8月、2月に書面による開催）

○岩沼市地域包括支援センター事業の受託

岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センターの事業は、平成20年4月1日から継続して受託し、令和5年度においても岩沼小学校区の地域包括支援センター事業を岩沼市から受託し、事業を実施しました。

① 法定事業

・介護予防支援事業、第1号介護予防支援事業	1, 898件
・総合相談事業	2, 173件
・権利擁護事業（虐待・成年後見制度利用支援、消費生活相談を含む）	262件
・包括的・継続的ケアマネジメント事業	204件
・生活支援コーディネート事業	1, 748件
・認知症地域支援事業	232件
・医療連携	69件
・地域ケア個別会議の開催	6回

② 任意事業

・介護予防教室	2回開催	参加者	40名
・認知症サポーター養成講座	4回開催	参加者	176名
・出前講座	4回開催	参加者	56名
・生涯現役！パワークラブ	22回開催	参加者	104名
・2層協議体	6回開催	参加者	54名
・生活支援体制整備事業岩沼小学校圏域研修会	1回開催	参加者	30名
・よいカフェ（商店街よい市に参加）	10回開催	参加者	56名
・包括だより	8回発行		

○居宅介護支援事業

岩沼市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所については、介護保険法等の趣旨に則り利用者の意思及び人格を尊重し、可能な限り居宅において、その方の有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、要介護認定等の申請に係る援助や利用者等への相談業務、居宅介護サービス計画等の作成と実施状況の把握、指定居宅サービス事業者や介護保険施設等への紹介等の居宅介護支援を行いました。

・要介護支援事業	805件
・介護認定調査業務	112件
・介護予防支援業務	38件

○特定・障害児相談支援事業

令和5年4月1日に岩沼市社会福祉協議会指定相談支援事業所を開設し、障害者総合支援法に基づき、指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業の円滑な運営管理を図るとともに、指定計画相談支援又は指定障害児相談支援を利用する利用者に対し、適切な相談や援助を行う事業を実施しました

・計画相談支援	149件
・障害児相談支援	21件

(2) 役職員の価値観の共有化

○役職員研修の充実

・役職員研修会	3回
・階層別研修会への参加	4名
・職能別研修会への参加	84名

○組織体制の見直し

・諸規程の制定及び改廃	改正5件
-------------	------

(3) 地域福祉活動計画の進行管理

- 第2次地域福祉活動計画の進行管理 (令和3年度から令和7年度)
- ・事業評価委員会の開催 1回(11月)

事業報告書の付属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

社会福祉法人岩沼市社会福祉協議会